

令和6年度 推薦に基づく選抜

面接 集団討論資料

注意事項

・開始の合図があるまで、この注意事項を読んでください。

・表紙の右上には受検番号欄があります。

開始の合図の後、受検番号を記入してください。

・討論に先立ち、資料を読み取り、意見をまとめる時間として5分間をとります。

・集団討論の時間は、6人グループは30分間、5人グループは25分間です。

・集団討論の進行役は特に決めませんので、皆さんで討論を進めてください。

・読み取りの時間や集団討論の際に、自分の考えをまとめたり、他の人の考えなどを

メモしたりする場合には、「集団討論メモ」を使用してください。

・この「集団討論資料」はすべて回収します。持ち帰ってはいけません。

東京都立西高等学校

集団討論資料

問い

下のグラフは、内閣府が平成14年と令和4年に実施した「防災に関する世論調査」における、

自然災害が起こったときに、その被害を少なくするために取る対応には、

「自助」…自分の身は自分で守ること

「共助」…地域や身近にいる人どうしが助け合うこと

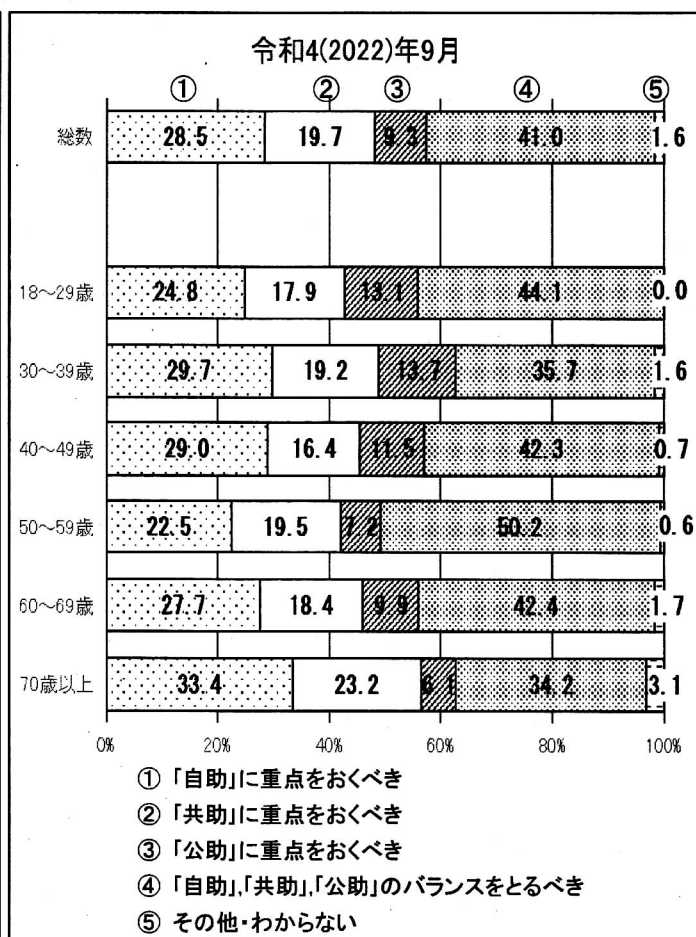
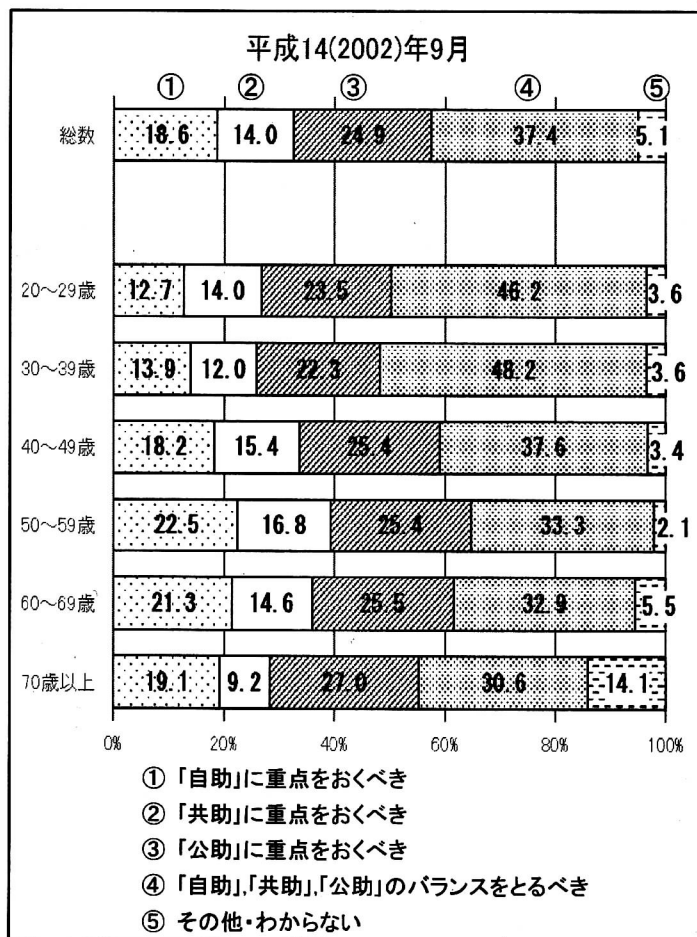
「公助」…国や地方公共団体が行う救助・援助・支援

という考え方があります。

あなたは、災害が起こったときに、被害を少なくするために「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点をおくべきと考えていますか。この中から1つだけお答えください。

- ① 「自助」に重点をおくべき
- ② 「共助」に重点をおくべき
- ③ 「公助」に重点をおくべき
- ④ 「自助」、「共助」、「公助」のバランスをとるべき
- ⑤ その他・わからない

という質問への回答の、回答者全体の割合と年代別の回答割合を示したものです。なお、質問の文言は令和4年の形式で示しています。また、「その他」と「わからない」は、便宜上まとめてあります。



これらのグラフから読み取れることにもとづいて、自由に討論してください。

集団討論メモ（受検生）